令和6年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立米子養護学校
 学校長 本 間 隆 之

評 価 日	令和7年2月28日(金)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p>1 学部経営・業務改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員のステップアップに力を入れていることがよく分かる。 ・学部によってはB評価もあるが、実際はA評価に近い。期待を込めての「B評価」とする。 ・業務削減は教職員の心身の健康の保持増進が目的。 ・数値目標から考えると業務改善の部分はC評価が妥当。しかしながら、業務をモチベーションとしている職員もいるためこれ以上の削減は難しいのではないかと考える。 <p>2 各校務分掌等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値化された目標に対するアンケートについては工夫が必要。アンケートの取り方により評価が変わる場合もある。 ・目標に対する取組は概ね適切である。教職員の努力がうかがえる。 <p>3 保護者評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話対応は相手の感じ方に左右される。少し明るい声で、フォローを入れることを忘れずに。 ・児童生徒が安全に登下校をするためには、敷地の拡大や駐車場の確保は絶対必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善や教材の工夫等授業づくりに対する意欲が高まった。 ・実態把握や障がい特性を理解し、教職員間の共通理解に務める。 ・時間外業務の偏りは縮小してきている。 ・校務分掌の見直し、ライトダウンの設定時刻や設定日の変更を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象を絞る、質問内容を検討する等改善を行う。 ・取り組むべき課題に応じた目標設定と取組となるよう検討を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・当該職員に対し電話対応について具体を示しながら確認する。 ・学校裏の田を購入・借用する交渉を行い地主も乗り気であったが資金調達等が難しく断念。学校周辺の空き地を職員駐車場として借用するために交渉中。 ・個別の意見についてはアンケート結果報告に合わせ文書で保護者に回答する。 	